

## 県道長野真田線の4キロ区間

# 「古戦場街道」をPR



更北・古戦場街道をPRする案内板

更北住民  
愛称決定

## 史跡公園に看板

更北地区住民自治協議会は、同地区内を南北に走る県道長野真田線の約4キロ区間について、住民アンケートで決めた愛称「更北・古戦場街道」をアピールする案内板を小島田町の川中島古戦場史跡公園にこのほど新設した。長野市中心部と上信越道長野インター付近を結ぶメイン道路とその周辺に広がる更北地区に一層親しんでもらう。

案内板はアルミ製で横1・8メートル、縦90センチ。同公園駐車場入り口付近に10月に設置した。更北地区全域の道路網と公共施設の地図を入れ、同公園前―丹波島橋南側を結ぶ更北・古戦場街道の区間を赤線で示している。

愛称は、16(平成28)年9月に地区内での回覧と地元小・中学校でのチラシ配布で募集。寄せられた約1300の案から、自治協役員や教員、地元出身の新人ららの審査で並び、県の承認を得て正

式決定した。

案内板は当初、10月12日に同公園で計画されていた「川中島古戦場まつり」の際に披露する予定だったが、台風19号の影響でまつりが中止になった。自治協は改めて今後、愛称を含めさまざまな機会にアピールしたいと考えた。